

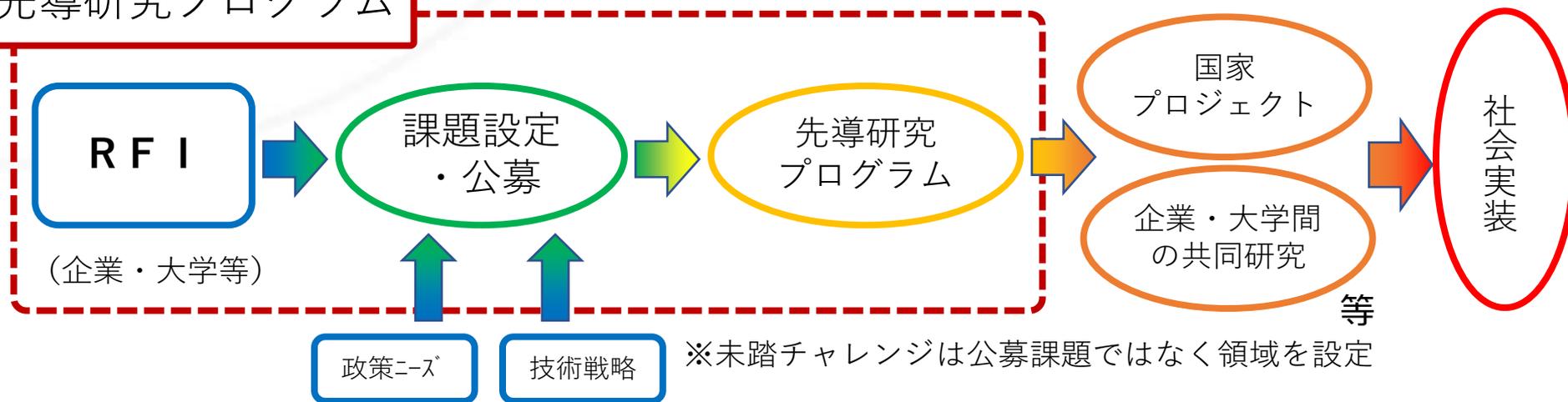
新技術先導研究プログラム 情報提供依頼（RFI）について

2024年 7月

1. 先導研究プログラム・RFIの位置づけ

- ◆ NEDOでは、**脱炭素社会の実現**や**新産業の創出に向けて**、**エネルギー・環境分野、産業技術分野**において、2040年以降（先導研究開始から15年以上先）の実用化・社会実装を見据えた**革新的な技術シーズ**を発掘・育成し、国家プロジェクトを含む産学連携体制による共同研究等につなげていくことを目的として、**先導研究プログラム**を推進しています。
- ◆ 先導研究プログラムでは、公募における技術課題を設定するため、**情報提供依頼 (Request For Information : RFI)**を行います。

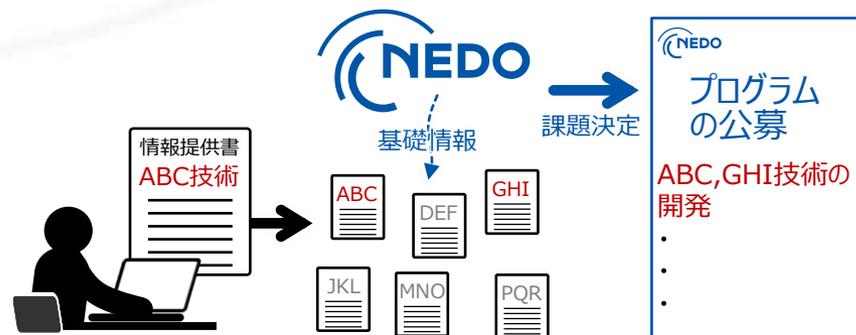
先導研究プログラム



2. RFIについて

Request For Information（情報提供依頼）のこと。

- RFIは、新技術先導研究プログラムの課題設定、NEDO技術戦略や他事業・制度の検討等に活用させていただくものです。
- したがって、新技術先導研究プログラムにご関心のある方はRFIに対する情報提供書をご提出ください。ただし、本RFI情報提供は、委託先の公募における提案書の提出要件ではありません。また、本RFIが直接的にプロジェクトの実施や資金提供の機会を呼びかけるものではございませんので、ご了承ください。
- RFIで提出される技術シーズ、更には政策ニーズや技術戦略等を踏まえ、他事業での実施状況も勘案し、総合的な判断のもと、新技術先導研究プログラムの公募に当たっての課題を設定します。



3. RFIで期待する技術シーズ（エネルギー・環境分野）



◆ 脱炭素社会の実現に向けて（エネルギー・環境分野）

✓ 下記 a.及び b.のいずれかの観点で有望と思われる技術シーズをご提供ください。

a. 2040年以降の実用化・社会実装の実現に資する技術シーズ

b. 諸外国・地域の研究機関等との国際共同研究開発を通じ、2040年以降の実用化・社会実装を見据えた革新的な技術シーズ

✓ 参考2～4に技術課題等も適宜参照いただき、有望と思われる技術シーズについてご提供下さい。

※参考2～4は、RFIの提出にあたってエネルギー・環境分野における技術・領域の例示を行うものであり、本プログラム公募における課題設定を方向性づけるものではありません。参考情報にあげる技術課題への該当有無にかかわらず有望と思われる技術シーズの提供をお願いいたします。

3. RFIで期待する技術シーズ（産業技術分野）

◆ 新産業の創出に向けて（産業技術分野）

- ✓ **量子、AI、バイオ、マテリアル、デジタル**など、我が国が強みを有する技術のうち、先導研究開始から15年～20年以上先に実用化・社会実装される技術シーズについてご提供下さい。

4. RFIで重視するもの

先導研究プログラムでは、革新的な技術シーズを磨き、国家プロジェクト等への道筋をつけ、最終的には社会実装を目指しています。

したがって、RFIにおいても、情報提供する技術シーズの【革新性】について、**従来の技術・発想に対してどの点が優位で革新的なのかを、明確・具体的に記載・説明いただくことが重要**です。

また、社会実装を目指すことから、その技術シーズが本格的な研究開発となり、その成果がどのように実用化されるのかという【波及効果・インパクト】を、**明確・具体的に記載・説明いただくことが重要**です。

加えて、先導研究プログラムは、①脱炭素社会の実現に資する有望な技術（国際共同研究開発を含む）、②新産業創出に結びつく技術に係る「技術シーズ」を発掘・育成するものであるため、こういった社会問題の解決、政策課題の達成に寄与するのかを、**明確・具体的に、そして可能な限り定量的なデータを持って記載いただくことが重要**です。

5. RFIの提出方法、提出期限、問い合わせ先



- 提出方法：Web入力フォーム（以下のRFIページ上にもリンクあり）から、必要情報の入力と補足情報ファイルをアップロードして下さい（同フォームの記入方法等については別添資料を参照）。

<先導研究プログラムRFIページ>

https://www.nedo.go.jp/koubo/SM2_100001_00072.html

提出期限：**2024年8月30日(金)12時**まで

※12時を過ぎますと、Web入力フォームへアクセスできなくなります。

- 問い合わせ先

➤ 全般：

フロンティア部

E-MAIL：rfi-enekan@nedo.go.jp

➤ 国際共同研究開発：

海外展開部

E-MAIL：shinkakushin@ml.nedo.go.jp

6. 想定スケジュール

(注) 政府方針の変更等により、本事業にかかる公募内容や時期等を変更する場合があります。

2024年

7月1日～8月30日

情報提供依頼 (RFI)
技術問題を解決する
シーズの情報収集

政策
ニーズ

技術
戦略
ニーズ

2025年

12月下旬 1月下旬頃

技術課題の検討

公募予告

課題決定・公表

先導研究公募

採択審査

採択決定

2026年

3月末

1年目
事業終了

事業実施

※予算閣議決定以降

※事業スキームについては「参考1」(P8-11)をご確認ください。

N E D O 先導研究プログラム

新技術先導研究プログラム

RFIの対象

エネルギー・環境新技術先導研究プログラム

エネルギー・環境分野における革新的技術の国際共同研究開発

新産業・革新技术創出に向けた先導研究プログラム

未踏チャレンジ

エネルギー・環境新技術先導研究プログラム（エネ環）

【対象とする研究開発テーマ】

脱炭素社会の実現に資する有望な技術であり、2040年以降の実用化・社会実装を見据えた革新的な技術

【実施期間】

最大3年間（2年目に中間評価を実施し、3年目の実施が認められたものに限る。）

【事業規模／事業形態】

総額2億円以内（1年目：1億円以内、2年目：5千万円以内、3年目：5千万円以内）／委託

【実施体制】

企業及び大学・公的研究機関等※による産学連携体制

※大学・公的研究機関等：国公立研究機関、国公立大学法人、大学共同利用機関法人、公立大学、私立大学、高等専門学校、並びに国立研究開発法人、独立行政法人、地方独立行政法人及びこれらに準ずる機関（以下、本資料において同じ）。

（採択状況）

（2020年度は追加公募を実施）

採択年度	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	合計
採択テーマ数	36	30	12	32	27	44	50	28	21	16	21	317

（注）事業スキームは、今後の政府予算の検討状況により、変更があり得ます。

エネルギー・環境分野における革新的技術の国際共同研究開発

【対象とする研究開発テーマ】

脱炭素社会の実現に向けて、2040年以降の実用化・社会実装を見据えた革新的な技術であり、我が国大学・公的研究機関等が諸外国の研究機関等との間で連携・協力して行うことを前提としたもの

【実施期間】

最大3年間（2年目に中間評価を実施し、3年目の実施が認められたものに限る。）

【事業規模／事業形態】

初年度：2.5千万円以内 2年度：5千万円以内 3年度：5千万円以内 4年度：2.5千万円以内／委託

【実施体制】

企業及び大学等による産学連携体制、又は大学・公的研究機関等のみの体制

（採択状況）

採択年度	2020	2021	2022	2023	2024	合計
採択テーマ数	(13)	(9)	(2)	5	9	14(24)

※()は前身事業での件数

(注) 事業スキームは、今後の政府予算の検討状況により、変更があり得ます。

新産業・革新技术創出に向けた先導研究プログラム（新新）

※2022年度までの「新産業創出新技术先導研究プログラム」と「マテリアル・バイオ革新技术先導研究プログラム」を本プログラムに統合。

【対象とする研究開発テーマ】

新産業・革新技术創出に向けた有望な技術であり、事業開始後15年から20年以上先の社会実装を見据えた革新的な技術

【実施期間】

最大3年間（2年目に中間評価を実施し、3年目の実施が認められたものに限る。）

【事業規模／事業形態】

総額2億円以内（1年目：1億円以内、2年目：5千万円以内、3年目：5千万円以内）／委託

【実施体制】

企業及び大学・公的研究機関等による産学連携体制

（採択状況）

採択年度	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	合計
採択 テーマ数	12	6	5	12 (うちマテ8)	6 (うちマテ3)	9	4	54 (うちマテ11)

（注）事業スキームは、今後の政府予算の検討状況により、変更があり得ます。

過去の先導研究プログラムの公募課題は、以下のURLより確認可能です。

エネルギー・環境新技術先導研究プログラム

新産業・革新技術創出に向けた先導研究プログラム

2024年度：https://www.nedo.go.jp/koubo/SM2_100001_00062.html

2023年度：https://www.nedo.go.jp/koubo/SM2_100001_00030.html

2022年度：https://www.nedo.go.jp/koubo/SM2_100001_00012.html

マテリアル・バイオ革新技術先導研究プログラム

2022年度：https://www.nedo.go.jp/koubo/EF2_100182.html

エネルギー・環境分野における革新的技術の国際共同研究開発

2024年度：https://www.nedo.go.jp/koubo/AT092_100228.html

2023年度：https://www.nedo.go.jp/koubo/AT092_100209.html

以下は前身事業（ご参考）

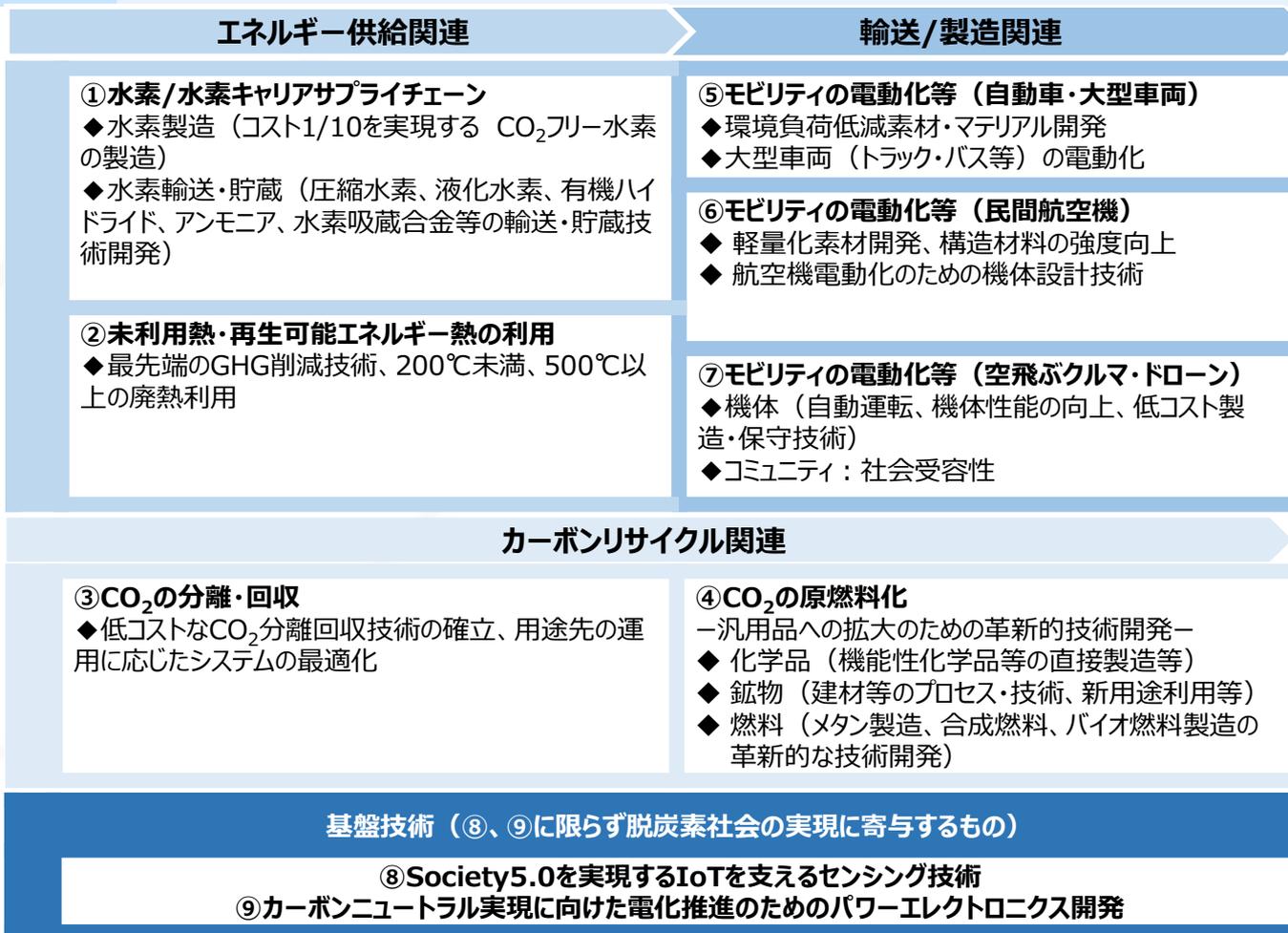
2022年度：https://www.nedo.go.jp/koubo/AT092_100198.html

2021年度：https://www.nedo.go.jp/koubo/AT092_100180.html

過去の採択テーマについては、以下のパンフレット（URL）より確認可能です。

2023年度版：<https://www.nedo.go.jp/content/100968431.pdf>

分野	国家戦略	2021 RFI数	2022 RFI数	2023 RFI数	合計
総合的な戦略	産業技術ビジョン2020（令和2年5月29日経済産業省）	54	57	52	163
	統合イノベーション戦略2022（令和4年6月3日閣議決定）	-	48	-	48
	統合イノベーション戦略2023（令和5年6月9日閣議決定）	-	-	63	63
	「安全・安心」の実現に向けた科学技術・イノベーションの方向性（令和2年1月21日統合イノベーション戦略推進会議決定）	19	24	14	57
エネルギー・環境	2050年カーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略（令和2年12月）	116	139	159	414
	革新的環境イノベーション戦略（令和2年1月21日統合イノベーション戦略推進会議決定）	106	108	127	341
	循環経済ビジョン2020	0	1	3	4
	エネルギー・環境イノベーション戦略	1	3	0	4
	地球温暖化対策計画（令和3年10月決定）	-	2	0	2
	みどりの食料システム戦略	0	0	2	2
材料	マテリアル革新力強化戦略（令和3年4月27日統合イノベーション戦略推進会議決定）	69	82	66	217
	半導体・デジタル産業戦略（令和5年6月 経済産業省 商務情報政策局決定）	-	-	4	5
バイオ	バイオ戦略2020（令和2年6月26日統合イノベーション戦略推進会議決定）	25	0	0	25
	バイオ戦略フォローアップ（令和3年6月11日統合イノベーション戦略推進会議決定）	0	33	29	62
	SDGs 3.8	1	1	0	2
AI	AI戦略2019（令和元年6月11日統合イノベーション戦略推進会議決定）	20	-	-	20
	AI戦略2022（令和4年4月22日統合イノベーション戦略推進会議決定）	-	20	25	45
量子	量子技術イノベーション戦略（令和2年1月21日統合イノベーション戦略推進会議）	8	0	0	8
	量子未来社会ビジョン（令和4年4月22日統合イノベーション戦略推進会議決定）	-	15	0	15
	量子未来産業創出戦略（令和5年4月14日統合イノベーション戦略推進会議決定）	-	-	15	15
	量子産業の創出・発展に向けた推進方策（令和6年4月9日量子技術イノベーション会議より報告）	-	-	-	-



『2021年度成果報告書 N E D O 先導研究プログラム/N E D O 先導研究プログラムにおける長期的な技術課題検討に係る分析・調査』（2022年3月 N E D O）から抜粋
 ※NEDO成果報告書データベースより参照可能